



梅盛りてをいふはと日初 平弥

若水乃中まもも美なりぬりぬ 茶室

太著子尚老らゝ子の子のま 和報

むはよゝゝ我老余老り終仕事 竹斎

寢漢く十万針のころまみく 香雪

遠まの葉付けけるはま 日隆

そのまの冨士の言も尺 北台

雪ももとりあひのう 巖芝

春のあて楯も 曾外

志中子持 可由

梅はむむ起 暗紅

いさみも 似花

数 あま

竹 あま

花 あま

と あま

さ あま

張 あま

張 あま

松子ある人数もてや子の日記
茶室
大甫

丙辰春

は量能也連

